

## 1.8 環境関連の社会資本の状況

### (1) 上水道の普及状況

本市、三浦市、葉山町、逗子市及び神奈川県ของ平成23年度における上水道の普及状況は、表3-2-14に示すとおりである。

本市の上水道普及率は100.0%である。

表3-2-14 上水道の普及状況

項目 \ 市町県名	横須賀市	三浦市	葉山町	逗子市	神奈川県
行政区域内人口（人）	413,401	47,405	32,777	58,207	9,052,730
現在給水人口（人）	413,387	47,398	32,772	58,205	9,016,978
普及率（人口比、%）	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6

出典：「県勢要覧 平成24年度版」（平成25年、神奈川県統計センター）

### (2) 下水道の普及状況

本市、三浦市、葉山町、逗子市及び神奈川県ของ平成23年度における下水道の普及状況は、表3-2-15に示すとおりである。

本市の下水道普及率は97.5%である。

表3-2-15 下水道の普及状況

項目 \ 市町県名	横須賀市	三浦市	葉山町	逗子市	神奈川県
行政人口（千人）	421.0	48.1	33.7	60.2	8,917.4
市街化区域面積（ha）	6,623.0	729.0	513.0	832.0	96,277.0
処理区域	人口（千人）	410.5	15.6	60.2	8,555.9
	面積（ha）	5,833.0	209.0	865.0	88,556.0
人口普及率（人口比、%）	97.5	32.4	56.7	100.0	95.9

注）1. 行政人口は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口。（資料：神奈川県総務局市町村行政課）

2. 市街化区域面積は平成24年4月1日現在。（資料：神奈川県県土整備局都市計画課）

3. 処理区域人口は、平成24年4月1日公示分を含む供用開始済区域人口

出典：「県勢要覧 平成24年度版」（平成25年、神奈川県統計センター）

### (3) 公園、緑地の分布状況

本市、三浦市、葉山町、逗子市及び神奈川県ของ都市公園、緑地の状況は、表3-2-16(1/2)に示すとおりである。また、実施区域周辺の公園、緑地の分布状況は、表3-2-16(2/2)及び図3-2-8に示すとおりである。

実施区域は、衣笠・大楠山近郊緑地保全区域内及び衣笠・大楠山風致地区内であり、また、実施区域周辺には衣笠山公園、衣笠公園、池上緑地等が存在している。

表3-2-16(1/2) 公園、緑地の状況

市町県名	項目	住区基幹公園				都市基幹公園			特殊公園	広域公園	都市緑地	緑道	合計
		街区公園	近隣公園	地区公園	計	総合公園	運動公園	計					
横須賀市	箇所	362	21	1	384	1	5	6	9	1	91	2	493
	面積(ha)	75.16	36.45	4.73	116.34	16.74	33.81	50.55	35.06	70.36	193.66	0.65	466.62
三浦市	箇所	58	1	-	59	-	1	1	2	-	1	-	63
	面積(ha)	9.91	3.69	-	13.60	-	5.27	5.27	14.80	-	0.64	-	34.31
葉山町	箇所	1	1	-	2	1	-	1	1	-	3	-	7
	面積(ha)	0.06	1.69	-	1.75	28.84	-	28.84	1.80	-	31.83	-	64.22
逗子市	箇所	70	3	1	74	-	-	0	2	-	6	-	82
	面積(ha)	10.06	7.04	5.56	22.66	-	-	0.00	8.41	-	19.66	-	50.73
神奈川県	箇所	5,984	335	71	6,390	42	28	70	68	13	395	67	7,003
	面積(ha)	879.16	550.48	348.24	1,777.88	748.48	452.60	1,201.08	423.70	509.97	525.27	81.55	4,519.45

注) 平成 23 年 3 月 31 日現在

出典：「平成 24 年度土地統計資料集」(平成 25 年、神奈川県統計センター)

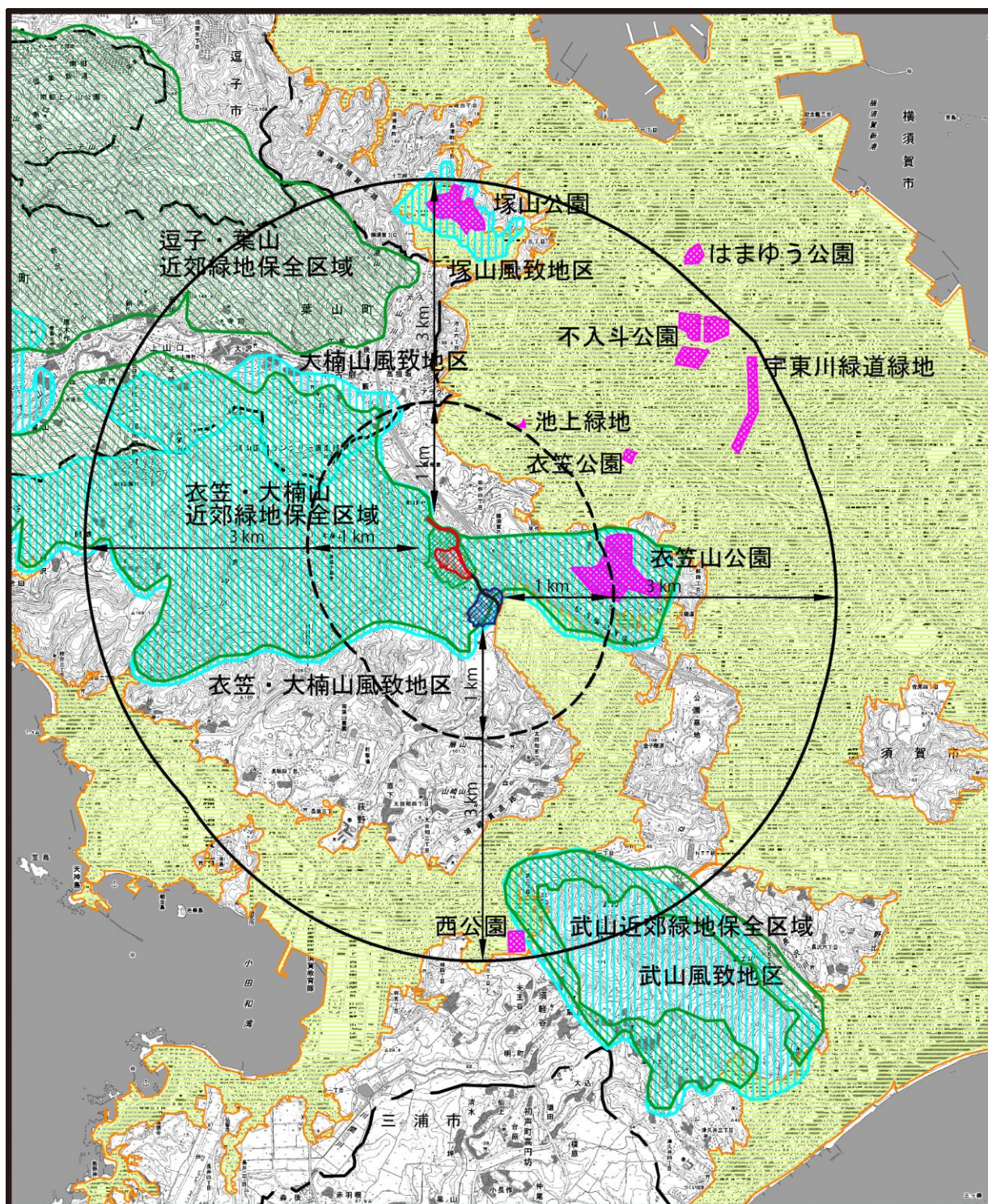
表3-2-16(2/2) 実施区域周辺の公園、緑地等

区 分	名 称	面積(ha)
運 動 公 園	不入斗公園	14.3
風 致 公 園 (特 殊 公 園)	衣笠山公園	18.0
	塚山公園	5.6
近 隣 公 園	衣笠公園	1.2
	西公園	5.0
	はまゆう公園	2.2
緑地	宇東川緑道緑地	1.1
	池上緑地	0.2

出典：「横須賀市ホームページ」(平成 22 年、横須賀市都市部都市計画課)

「かながわの公園緑地」(平成 20 年、神奈川県)





#### 凡 例

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| : 廃棄物処理施設<br>(宅地の造成を含む) | : 新設搬入道路     |
| : 宅地の造成<br>(残置森林(最大範囲)) | : 既設改修道路     |
| : 発生土処分場                | : 市街化区域      |
| : 市町界                   | : 緑地保全区域     |
|                         | : 風致地区       |
|                         | : 主な公園、緑地、緑道 |

注) 宅地の造成(残置森林(最大範囲))には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。

出典：「かながわの公園緑地」  
(平成18年現在、神奈川県)



0 500 1000 2000 m

図3-2-8 公園、緑地の分布図



#### (4) 廃棄物処理施設等の状況

##### ア 一般廃棄物処理の状況

###### ＜横須賀市＞

横須賀市で発生する可燃ごみ及び粗大ごみについては、南処理工場（焼却施設能力：200t/日(24時間)×3炉（全連続燃焼式ストーカー炉）、粗大ごみ処理施設：60t/日（5時間）×1基（衝撃せん断回転式））に搬入し、処理を行っている。発生した焼却灰は、県外の処理施設に委託し熔融等処理の後、資源化を行っている。

不燃ごみについては、不燃ごみ減容固化施設に搬入し、圧縮梱包処理の後、県外に運搬、埋立処理を行っている。

缶、びん、ペットボトル、容器包装プラスチックについては、リサイクルプラザ「アイクル」に搬入し、選別・圧縮等中間処理の後、資源化を行っている。

###### ＜三浦市＞

三浦市で発生する一般ごみ（可燃ごみ）及び粗大ごみについては、環境センターにおいて積替えや破碎選別等を行い、焼却処理は他の自治体に委託している。

埋立ごみについては、西岩堂埋立地において処理を行っている。また、平成13年度からは埋立ごみの一部を自区外の民間施設において処理処分を行っている。

缶、びん、ペットボトル、容器包装プラスチックについては、清掃事業所又は環境センターに搬入し、選別・圧縮等中間処理の後、資源化を行っている。

###### ＜一般廃棄物の状況＞

本市、三浦市、葉山町、逗子市及び神奈川県的一般廃棄物処理の状況（ごみ、し尿及び浄化槽汚泥）は、表3-2-17(1/2)～(2/2)に示すとおりである。本市は三浦市に比べ、ごみの年間総排出量は多いが、1人1日当たりごみ排出量においては、本市が少ない。

表3-2-17(1/2) 一般廃棄物処理の状況（ごみ）

区分 市町県名	年間総 排出量 t	年間総 収集量 t	年 間 総 処 理 量				集団 回収量 t	1人1日当たり ごみ排出量 g/日
			焼却処理 量 t	埋立 処理量 t	資源化量 t	その他 t		
横須賀市	153,969	124,692	101,696	6,604	16,022	370	29,277	1,011
三浦市	19,115	18,393	9,581	2,102	5,618	1,092	722	1,091
葉山町	12,676	12,406	8,122	512	3,772	－	270	1,054
逗子市	21,834	19,188	15,916	357	2,915	－	2,646	973
神奈川県	3,085,925	2,764,355	2,328,441	23,935	407,468	4,511	321,570	930

注) 1 年間総収集量は年間総処理量の計に一致する。

2 「一人一日当たりごみ排出量」＝「年間総排出量」／「計画収集人口」／365

出典：「県勢要覧 平成24年度版」（平成25年、神奈川県統計センター）

表3-2-17(2/2) 一般廃棄物処理の状況（し尿及び浄化槽汚泥）

区分 市町県名	年間 総収集量 kL	し尿処理施設 等処理量		下水道投入量 kL	自家処理量 kL	1日当たり 処理施設 処理量 kL/日
		kL	kL			
横須賀市	16,391	-	16,391	-	-	-
三浦市	23,158	23,158	-	-	-	63
葉山町	10,390	-	10,390	-	-	-
逗子市	438	-	438	-	-	-
神奈川県	368,606	181,939	186,667	1,079	497	

出典：「県勢要覧 平成24年度版」（平成25年、神奈川県統計センター）

## イ 産業廃棄物処理の状況

神奈川県は産業廃棄物の発生及び処理の状況は、表3-2-18に示すとおりである。

神奈川県内の平成21年度の産業廃棄物発生量は、19,466千tであり、そのうち、9,413千t（有価物量：2,304千t、再生利用量：7,109千t）が資源化され、最終処分量は1,138千tとなっている。

表3-2-18 産業廃棄物処理の状況

（単位：千t）

種類	発生量	資源化量			最終処分量
		有価物量	再生利用量	計	
合計	19,466	2,304	7,109	9,413	1,138
燃え殻	36	2	113	114	20
汚泥	10,482	32	1,195	1,227	895
廃油	221	18	80	98	
廃酸	201	3	18	21	
廃アルカリ	114	0	11	11	
廃プラスチック類	307	16	168	184	67
紙くず	174	19	147	166	0
木くず	311	1	292	293	5
繊維くず	4		4	4	0
動植物性残さ	130	34	70	103	1
動物系固形不要物	7		7	7	0
ゴムくず	0	0	0	0	0
金属くず	740	398	336	733	7
ガラス陶磁器くず	395	0	360	360	19
鉱さい	1,915	1,750	149	1,899	16
がれき類	3,673	7	3,555	3,563	86
ばいじん	464	23	440	463	1
動物のふん尿	196		130	130	
動物の死体	8		5	5	
その他の産業廃棄物	58	2	31	34	21

出典：「神奈川県 産業廃棄物総合実態調査報告書（平成21年度実績）」  
（平成25年、神奈川県環境農政局環境部資源循環課）

## 1.9 公害の状況

### (1) 大気汚染

実施区域周辺の大気汚染常時監視測定局の平成24年度の環境基準の達成状況及び測定結果は、表3-2-19及び表3-2-20(1/6)～(6/6)に示すとおりである。また、測定局の位置は図3-2-9に示すとおりである。

一般環境大気測定局における光化学オキシダントについては環境基準を達成していない。

表3-2-19 大気汚染の環境基準達成状況

地点 番号	区分	測定局名	所在地	環境基準達成状況								
				二酸化 窒素	浮遊粒子状物質		光化学 オキシ ダント	二酸化硫黄		一酸化炭素		ダイオ キシン 類
					長期的 評 価	短期的 評 価		長期的 評 価	短期的 評 価	長期的 評 価	短期的 評 価	
①	一般環境 大気測定 局	横須賀市役所	横須賀市 小川町 11	○	○	○	×	-	-	-	-	○
②		横須賀市 追浜行政センター	横須賀市 夏島町 9	○	○	○	×	○	○	-	-	○
③		横須賀市 久里浜行政センター	横須賀市 久里浜 6-14-2	○	○	○	×	○	○	-	-	○
④		横須賀市 西行政センター	横須賀市 長坂 1-2-2	○	○	○	×	-	-	-	-	○
⑤	自動車排出 ガス測定局	横須賀市 小川町	横須賀市 小川町 2-13	○	○	○	-	-	-	○	○	-

- 注) 1. 「-」は、未測定を示す。  
 2. 環境基準（長期的評価、短期的評価）については、「○」は達成を、「×」は非達成を示す。  
 3. ダイオキシン類については、横須賀市にて実施。  
 4. 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
 （平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課）

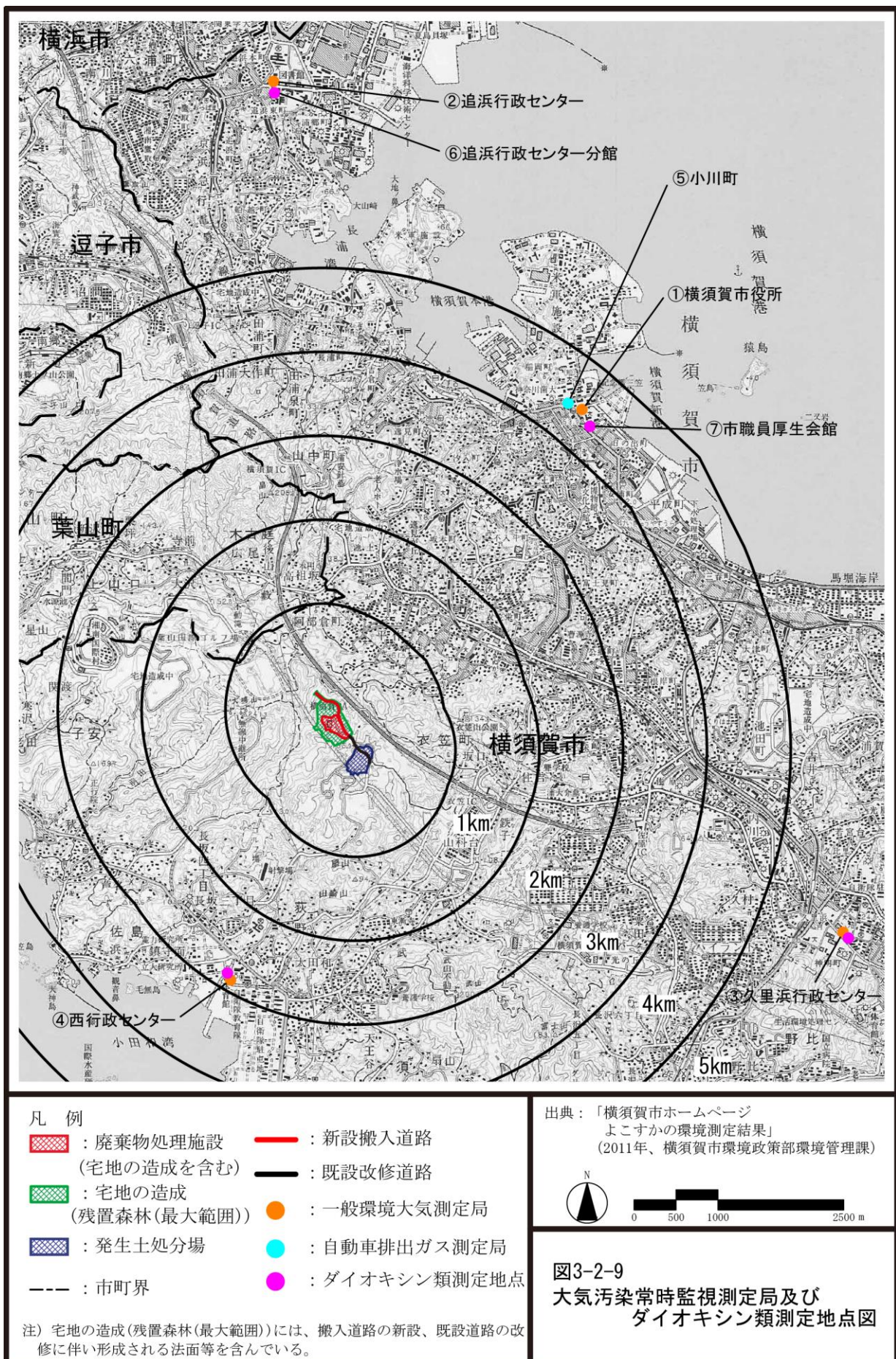




表3-2-20(1/6) 大気汚染の測定結果（二酸化窒素）

地点 番号	区分	測定局名	二酸化窒素								
			有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の年間 98% 値	日平均値が 0.06ppm を超えた 日数と その割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の日数と その割合	
								日	時間	ppm	ppm
①	一般環境 大気測定局	横須賀市役所	363	8,597	0.019	0.075	0.041	0	0.0	10	2.8
②		横須賀市 追浜行政センター	359	8,597	0.018	0.075	0.041	0	0.0	14	3.8
③		横須賀市 久里浜行政センター	363	8,648	0.015	0.067	0.038	0	0.0	3	0.8
④		横須賀市 西行政センター	354	8,474	0.012	0.065	0.038	0	0.0	1	0.3
⑤	自動車排出 ガス測定局	横須賀市 小川町	354	8,464	0.023	0.080	0.044	0	0.0	22	6.2
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。								

注) 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

表3-2-20(2/6) 大気汚染の測定結果（二酸化硫黄）

地点 番号	区分	測定局名	二酸化硫黄							
			有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の最高値	日平均値が 0.04ppm を超えた日 が 2 日以上 連続したこと の有無	日平均値が 0.04ppm を超えた 日数と その割合	
									日	時間
②	一般環境 大気測定局	横須賀市 追浜行政センター	359	8,572	0.004	0.043	0.009	無	0	0.0
③		横須賀市 久里浜行政センター	362	8,638	0.003	0.042	0.006	無	0	0.0
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下 であること							

注) 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)



表3-2-20 (3/6) 大気汚染の測定結果（一酸化炭素）

地点 番号	区分	測定局名	一酸化炭素							
			有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の最高値	日平均値が 10ppm を超え た日が2日以 上連続した ことの有無	環境基準の長 期的評価によ る日平均値が 10ppm を超え た日数とその 割合	
			日	時間	Ppm	ppm	ppm		日	%
⑤	自動車排出 ガス測定局	横須賀市 小川町	363	8,654	0.5	3.4	1.2	無	0	0.0
環境基準			1 時間値の1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の8 時間平均値が 20ppm 以下であること							

注) 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

表3-2-20 (4/6) 大気汚染の測定結果（浮遊粒子状物質）

地点 番号	区分	測定局名	浮遊粒子状物質								
			有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	1 時間値 の最高値	日平均値 の最高値	1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた 時間数と その割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた 日数と その割合	
								日	時間	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>
①	一般環境 大気測定局	横須賀市役所	362	8,702	0.020	0.123	0.074	0	0.00	0	0.0
②		横須賀市 追浜行政センター	357	8,589	0.029	0.127	0.075	0	0.00	0	0.0
③		横須賀市 久里浜行政センター	362	8,700	0.020	0.139	0.073	0	0.00	0	0.0
④		横須賀市 西行政センター	360	8,664	0.019	0.132	0.083	0	0.00	0	0.0
⑤	自動車排出 ガス測定局	横須賀市 小川町	362	8,670	0.025	0.132	0.072	0	0.00	0	0.0
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。								

注) 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

表3-2-20(5/6) 大気汚染の測定結果（光化学オキシダント）

地点 番号	区分	測定局名	光化学オキシダント								
			有効 測定 日数	測定 時間	昼間の 1時間値の 年平均値	昼間の 1時間値 の最高値	昼間の 日最高 1時間値の 年平均値	昼間の 1時間値が 0.06ppm を超えた 日数及び 時間数		昼間の 1時間値が 0.12ppm 以上の 日数及び 時間数	
								日	時間	ppm	ppm
①	一般環境 大気測定局	横須賀市役所	365	5,407	0.031	0.112	0.042	60	252	0	0
②		横須賀市 追浜行政センター	358	5,254	0.027	0.117	0.045	72	359	0	0
③		横須賀市 久里浜行政センター	365	5,392	0.031	0.130	0.046	75	347	1	1
④		横須賀市 西行政センター	363	5,309	0.035	0.151	0.050	92	541	1	3
環境基準			1時間値が0.06ppm以下であること。								

注）地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
（平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課）

表3-2-20(6/6) 大気汚染の測定結果（非メタン炭化水素）

地点 番号	区分	測定局名	非メタン炭化水素					
			22 年度		23 年度		24 年度	
			24 時間 平均値	6～9 時 3 時間 平均値	24 時間 平均値	6～9 時 3 時間 平均値	24 時間 平均値	6～9 時 3 時間 平均値
			ppmC	ppmC	ppmC	ppmC	ppmC	ppmC
②	一般環境 大気測定局	横須賀市 追浜行政センター	0.27	0.22	0.24	0.23	0.21	0.23
③		横須賀市 久里浜行政センター	0.17	0.15	0.18	0.14	0.15	0.17
④		横須賀市 西行政センター	0.13	0.10	0.12	0.10	0.10	0.12
⑤	自動車排出 ガス測定局	横須賀市 小川町	0.24	0.21	0.22	0.19	0.19	0.20

注）地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「大気汚染常時監視測定結果月報(1時間値)」（神奈川県環境科学センター）  
「横須賀市ホームページ よこすかの環境 平成 23 年度版」  
（平成 24 年、横須賀市環境政策部環境管理課）

また、実施区域周辺ではダイオキシン類対策特別措置法に基づきダイオキシン類調査が横須賀市により平成10年度から行われている。平成19年度から平成23年度の測定結果は表3-2-21(1/2)、平成24年度の測定結果は表3-2-21(2/2)に、測定地点の位置は図3-2-9に示したとおりである。これらより各年度ともに環境基準を達成している。

表3-2-21(1/2) ダイオキシン類の測定結果（平成19年度～平成23年度）

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

地点番号	調査地点	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	環境基準
③	久里浜行政センター	0.023	0.030	0.024	0.019	0.016	0.6 (年平均値)
④	西行政センター	0.024	0.023	0.025	0.016	0.013	
⑥	追浜行政センター分館	0.029	0.026	0.021	0.018	0.016	
⑦	市職員厚生会館	0.031	0.029	0.026	0.020	0.017	
	市内 4 地点の平均	0.027	0.027	0.024	0.018	0.016	

注) 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

「横須賀市ホームページ よこすかの環境 平成 23 年度版」  
(平成 24 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

表3-2-21(2/2) ダイオキシン類の測定結果（平成24年度）

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

地点番号	調査地点	平成 24 年 8 月 16 日 ～23 日	平成 25 年 1 月 24 日 ～31 日	年平均値	環境基準
③	久里浜行政センター	0.0073	0.0130	0.0100	0.6 (年平均値)
④	西行政センター	0.0083	0.0160	0.0120	
⑥	追浜行政センター分館	0.0100	0.0130	0.0120	
⑦	市職員厚生会館	0.0110	0.0150	0.0130	
	市内 4 地点の平均	0.0092	0.0140	0.0120	

注) 地点番号は図 3-2-9 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 横須賀市環境基本計画年次報告 平成 24 年度版」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)



## (2) 水質汚濁

### ア 公共用水域

実施区域周辺の公共用水域における平成24年度の水質の調査結果は表3-2-22(1/2)～(2/2)に、調査地点の位置は図3-2-10に示すとおりである。

生活環境項目について、平作川（夫婦橋）での大腸菌群数は環境基準を満たしていないが、その他の項目、その他の類型が指定されている水域におけるすべての項目で環境基準を達成している。

また、健康項目については、松越川（竹川合流後）及び平作川（夫婦橋）で全項目について環境基準を達成している。

表3-2-22(1/2) 河川・海域水質調査結果（平成24年度：生活環境項目）

・河川

地点番号	水域	調査地点	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	浮遊物質 量 (mg/L)	溶存酸素量 (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	類型	測定機関
①	松越川	竹川合流後	8.4	2.4	6	10.4	$7.1 \times 10^4$	E 類型	横須賀市
②	竹川	中尾橋	8.5	2.0	3	11.5	$1.4 \times 10^4$	—	
③	芦名川	芦名橋	8.2	2.3	1	9.9	$1.2 \times 10^4$	—	
④	前田川	向坂橋	8.5	1.0	6	11.0	$0.7 \times 10^4$	—	
⑤	関根川	粒石橋	8.4	0.7	3	10.0	$0.7 \times 10^4$	—	
⑥	久留和川	久留和橋	8.6	3.1	6	12.4	$1.2 \times 10^5$	—	
⑦	平作川	夫婦橋	7.6	1.6	2	6.0	$3.1 \times 10^4$	B 類型	
環境基準		B 類型	6.5 以上 8.5 以下	3 以下	25mg/L 以下	5 以上	5,000MPN/ 100mL 以下		
		E 類型	6.0 以上 8.5 以下	10 以下	ごみ等の 浮遊が認められ ないこと	2 以上	—		

注) 1. 神奈川県測定 of 生物化学的酸素要求量は 75% 値、他は年平均値。

2. 類型欄の「—」は類型指定なしを示す。

3. 地点番号は図 3-2-10 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

・海域

地点番号	水域	調査地点	水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (mg/L)	溶存酸素量 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)	類型	測定機関
⑧	相模湾	小田和湾	8.2	1.2	7.8	0.34	0.024	A 類型	横須賀市
⑨	東京湾	久里浜港内	8.1	1.7	7.7	0.54	0.047	B 類型	
環境基準		A 類型	7.8 以上 8.3 以下	2 以下	7.5 以上	—	—		
		B 類型	7.8 以上 8.3 以下	3 以下	5 以上	—	—		
		II 類型	—	—	—	0.3 以下	0.03 以下	—	

注) 1. 化学的酸素要求量は 75% 値、他は年平均値。

2. 地点番号は図 3-2-10 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

表3-2-22 (2/2) 河川水質調査結果（平成24年度：健康項目）

(単位：mg/L)

地点番号	①	⑦	環境基準
水域	松越川	平作川	
項目/調査地点	竹川合流後	夫婦橋	
カドミウム	不検出	不検出	0.003 以下
全シアン	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	不検出	不検出	0.01 以下
六価クロム	不検出	不検出	0.05 以下
砒素	不検出	不検出	0.01 以下
総水銀	不検出	不検出	0.0005 以下
アルキル水銀	—	—	検出されないこと
PCB	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	不検出	不検出	0.02 以下
四塩化炭素	不検出	不検出	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	不検出	不検出	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	不検出	不検出	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	不検出	不検出	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	不検出	不検出	0.006 以下
トリクロロエチレン	不検出	不検出	0.03 以下
テトラクロロエチレン	不検出	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	不検出	不検出	0.002 以下
チウラム	不検出	不検出	0.006 以下
シマジン	不検出	不検出	0.003 以下
チオベンカルブ	不検出	不検出	0.02 以下
ベンゼン	不検出	不検出	0.01 以下
セレン	不検出	不検出	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	2.20	2.40	10 以下
ふっ素	0.16	—	0.8 以下
ほう素	0.29	—	1 以下
1,4-ジオキサン	不検出	不検出	0.05 以下
測定機関	横須賀市		

注) 1. —は未測定を示す。

2. アルキル水銀については、総水銀が検出された時のみ測定する。

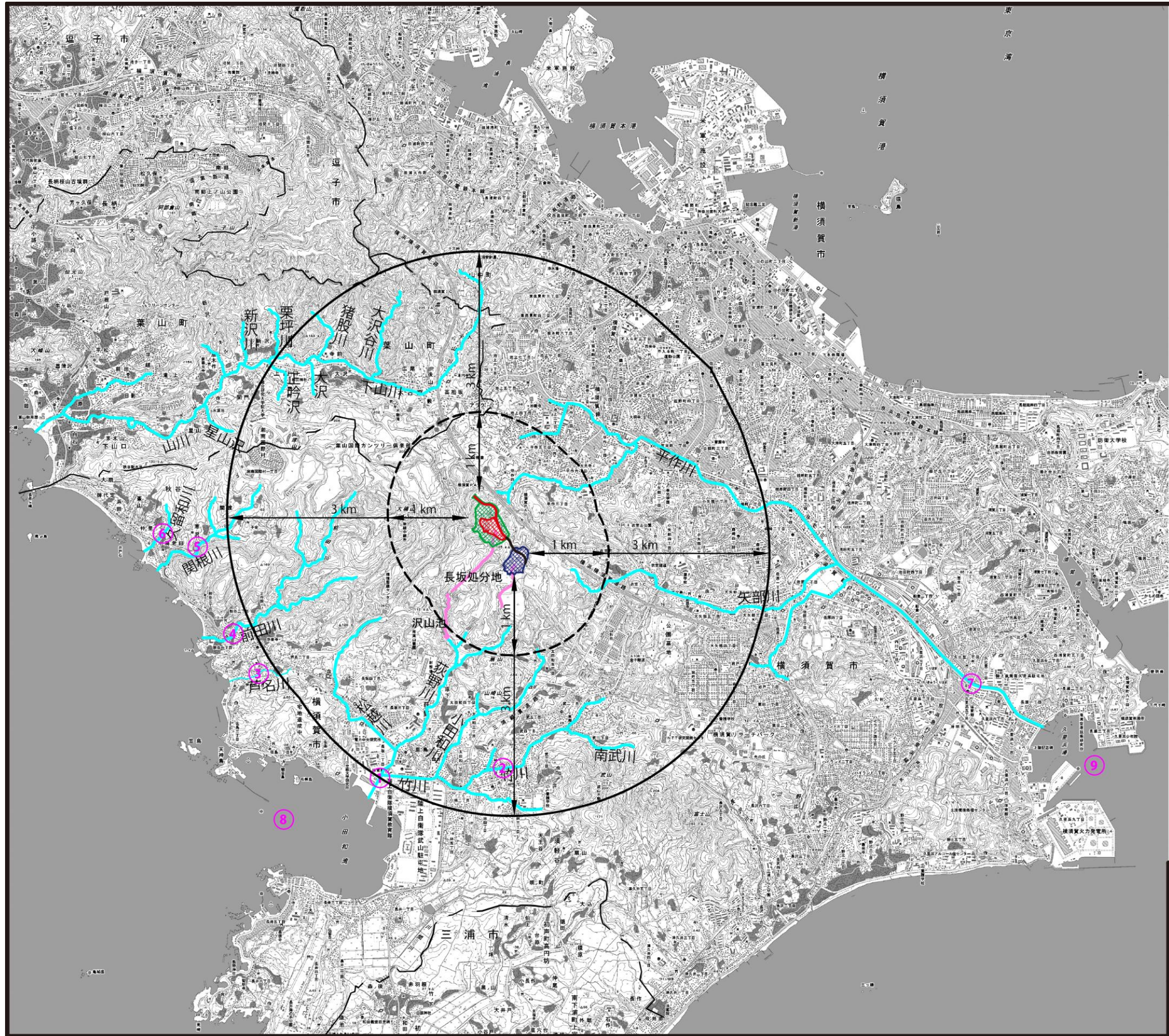
3. 「不検出」とは神奈川県公共用水域及び地下水の水質測定計画に定められた報告下限値未満のことをいう。

4. 地点番号は図 3-2-10 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

(空白)





- 凡 例
- ： 廃棄物処理施設  
(宅地の造成を含む)
  - ： 宅地の造成  
(残置森林(最大範囲))
  - ： 発生土処分場
  - : 市町界
  - : 新設搬入道路
  - : 既設改修道路
  - : 河川
  - : 排水路等
  - : 水質調査地点

注) 宅地の造成(残置森林(最大範囲))には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。

出典：「横須賀土木事務所管内図」(平成20年、横須賀土木事務所)  
「平成24年度横須賀地域の気象環境、水環境の状況について」  
(平成25年、横須賀市)



図3-2-10 水質調査地点図



(空白)

また、実施区域周辺ではダイオキシン類対策特別措置法に基づきダイオキシン類調査が横須賀市により平成10年度から行われている。

平成19年度から平成23年度の測定結果を表3-2-23(1/2)に、平成24年度の測定結果を表3-2-23(2/2)に示す。

これらより各年度ともに環境基準を達成している。

表3-2-23(1/2) ダイオキシン類の測定結果（平成19年度～平成23年度）

（単位：pg-TEQ/L）

地点番号	調査地点	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	環境基準
①	河川 松越川 竹川合流後	0.090	0.080	0.120	0.076	0.230	1 (年平均値)
⑦	河川 平作川 夫婦橋	0.060	0.065	0.071	0.070	0.061	
⑧	海域 小田和湾	0.060	0.057	0.058	0.059	0.046	
⑨	海域 久里浜港内	0.060	0.056	0.092	0.058	0.046	

注) 地点番号は図 3-2-10 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)

表3-2-23(2/2) ダイオキシン類の測定結果（平成24年度）

・河川

（単位：pg-TEQ/L）

地点番号	調査地点	平成 24 年 8 月 17 日	環境基準
①	松越川 竹川合流後	0.180	1 (年平均値)
⑦	平作川 夫婦橋	0.069	

・海域

（単位：pg-TEQ/L）

地点番号	調査地点	平成 24 年 8 月 8 日	環境基準
⑧	海域 小田和湾	0.058	1 (年平均値)
⑨	海域 久里浜港内	0.049	

注) 地点番号は図 3-2-10 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、  
水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)



## イ 地下水

実施区域周辺の地下水調査地点の平成24年度における調査結果は表3-2-24に、調査地点の位置は図3-2-11に示したとおりである。

地下水の水質調査結果は、すべての項目について環境基準を達成している。

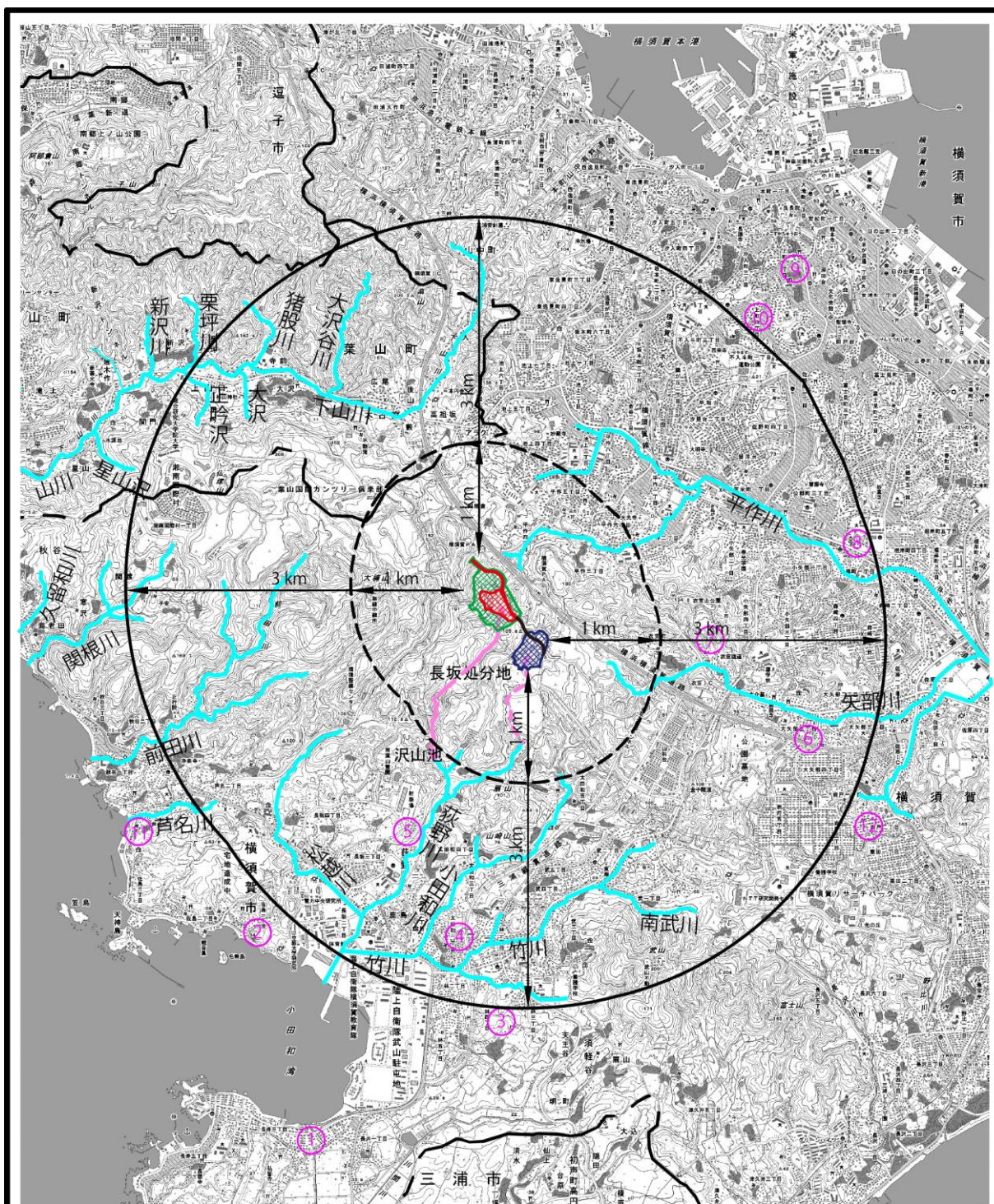
表3-2-24 地下水の水質調査結果（平成24年度）

（単位：mg/L）

地点番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	環境基準
調査地点	長井	佐島	林	太田和	長坂	大矢部	衣笠町	公郷町	上町	
深度区分	浅井戸									
項目／用途区分	生活用水			飲用	生活用水					
カドミウム	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
全シアン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
六価クロム	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05 以下
砒素	0.005	0.005	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
総水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005 以下
アルキル水銀	－	－	－	－	－	－	－	－	－	検出されないこと
PCB	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
四塩化炭素	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
1,2-ジクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
トリクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.03 以下
テトラクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
チウラム	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
シマジン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
チオベンカルブ	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
ベンゼン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
セレン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.54	3.50	3.00	不検出	6.80	0.23	0.32	4.40	1.30	10 以下
ふっ素	0.17	0.13	0.10	0.12	0.08	0.12	不検出	0.08	不検出	0.8 以下
ほう素	0.09	0.03	0.04	0.07	0.05	0.05	不検出	0.21	0.06	1 以下
1,4-ジオキサン	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05 以下
測定期間	横須賀市									

- 注) 1. —は未測定を示す。  
 2. アルキル水銀については、総水銀が検出された時のみ測定する。  
 3. 「不検出」とは神奈川県公共用水域及び地下水の水質測定計画に定められた報告下限値未満のことをいう。  
 4. 地点番号は図3-2-11に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成24年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
 （平成25年、横須賀市環境政策部環境管理課）



#### 凡 例

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| : 廃棄物処理施設<br>(宅地の造成を含む) | : 新設搬入道路    |
| : 宅地の造成<br>(残置森林(最大範囲)) | : 既設改修道路    |
| : 発生土処分場                | : 河川        |
| : 市町界                   | : 排水路等      |
|                         | : 地下水水質調査地点 |

注) 宅地の造成(残置森林(最大範囲))には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。

出典: 「横須賀土木事務所管内図」(平成20年、横須賀土木事務所)

「平成24年度横須賀地域の気象環境、水環境の状況について」(平成25年、横須賀市)



0 500 1000 2000 m

図3-2-11 地下水の水質調査地点図

また、実施区域周辺ではダイオキシン類対策特別措置法に基づきダイオキシン類調査が横須賀市により平成10年度から行われている。

平成24年度における測定結果は表3-2-25に、調査地点の位置は図3-2-11に示したとおりであり、各地点ともに環境基準を達成している。

表3-2-25 ダイオキシン類の測定結果（平成24年度）

（単位：pg-TEQ/L）

地点 番号	調査地点	調査結果	環境基準	調査年月日
⑩	上町	0.029	1 (年平均値)	平成 24 年 10 月 18 日
⑪	芦名	0.029		
⑫	岩戸	0.032		

注) 地点番号は図 3-2-11 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)



### (3) 騒 音

実施区域周辺では、自動車騒音について市の自主測定が毎年行われている。平成24年度の自動車騒音測定結果は表3-2-26に、調査地点の位置は図3-2-12に示したとおりであり、測定結果をみると、6地点での調査のうち①地点の昼間と夜間、③地点の夜間のみ環境基準を達成していない。

表3-2-26 道路交通騒音の測定結果（平成24年度）

（単位：デシベル）

地点番号	道路名	測定地点	時間帯	等価騒音レベル	環境基準	適否
①	横浜横須賀道路	大矢部 4-34-4 先	昼間	71	70	×
			夜間	67	65	×
②	横浜横須賀道路	阿部倉 32-7 先	昼間	66	70	○
			夜間	60	65	○
③	県道横須賀三崎線	佐野町 3-14 先	昼間	69	70	○
			夜間	66	65	×
④	三浦縦貫道路	太田和 3 丁目先	昼間	53	70	○
			夜間	46	65	○
⑤	県道横須賀葉山線	公郷町 2-21 先	昼間	66	70	○
			夜間	62	65	○
⑥	市道 6836 号線	池上 6-2-2 先	昼間	69	70	○
			夜間	63	65	○

注) 1. [時間帯]昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

2. 地点番号は図 3-2-12 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
（平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課）

(4) 振 動

実施区域周辺では、本市により自動車振動の測定が行われており、平成24年度の測定結果は表3-2-27に、調査地点の位置は図3-2-12に示したとおりである。

測定結果を見ると各地点とも全ての時間帯で要請限度を下回る状況となっている。

表 3-2-27 道路交通振動の測定結果（平成 24 年度）

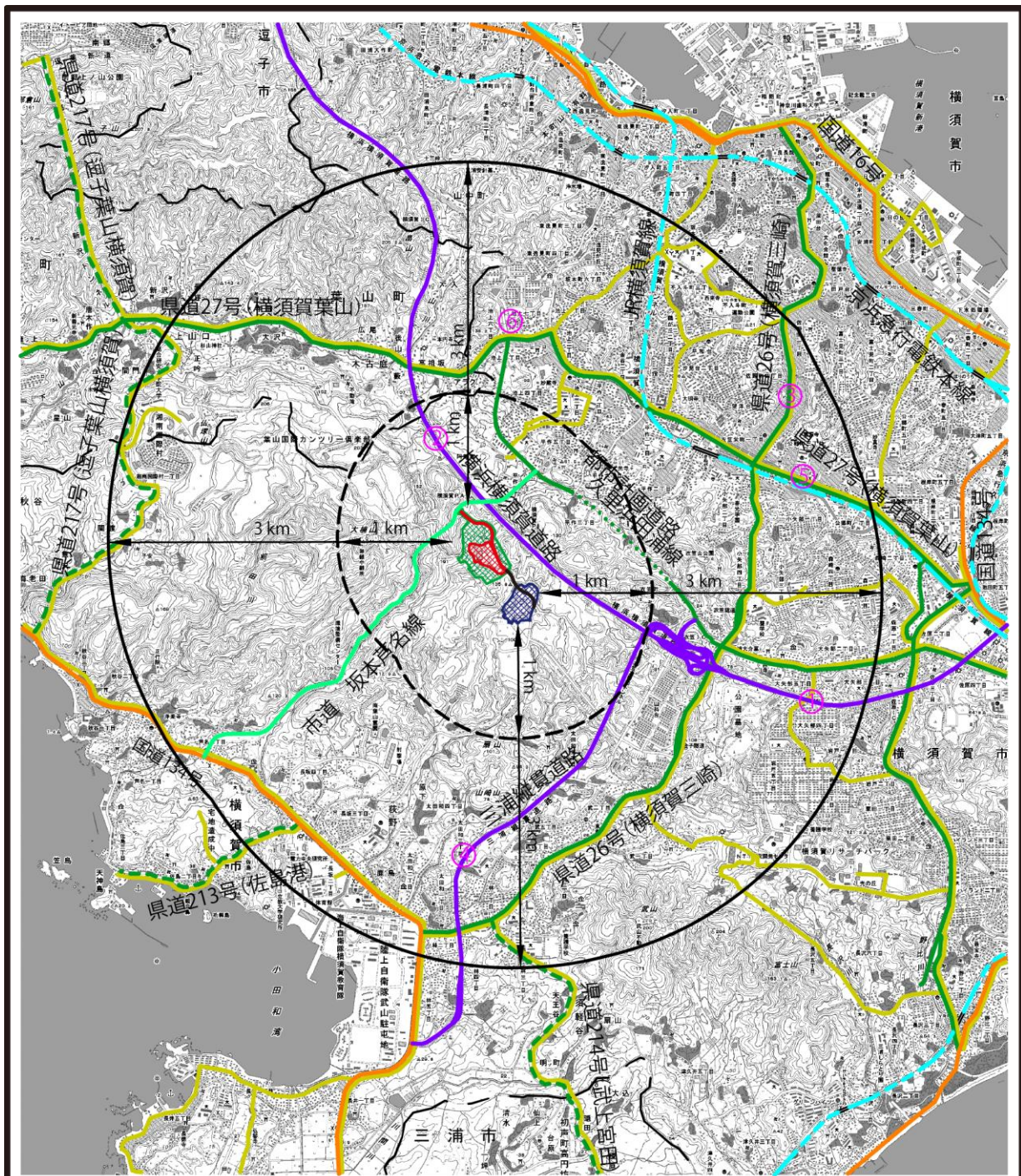
（単位：デシベル）

地点 番号	道路名	測定地点	時間帯	測定値 ( $L_{10}$ )	要請限度	適否
①	横浜横須賀道路	大矢部 4-34-4 先	昼間	18	65	○
			夜間	14	60	○
②	横浜横須賀道路	阿部倉 32-7 先	昼間	38	65	○
			夜間	30	60	○
③	県道横須賀三崎線	佐野町 3-14 先	昼間	42	70	○
			夜間	36	65	○
④	三浦縦貫道路	太田和 3 丁目先	昼間	18	65	○
			夜間	13	60	○
⑤	県道横須賀葉山線	公郷町 2-21 先	昼間	40	70	○
			夜間	35	65	○
⑥	市道 6836 号線	池上 6-2-2 先	昼間	45	65	○
			夜間	38	60	○

注) 1. [時間帯]昼間：8～19 時、夜間：19～8 時

2. 地点番号は図 3-2-12 に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成 24 年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」  
(平成 25 年、横須賀市環境政策部環境管理課)



#### 凡 例

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| : 廃棄物処理施設<br>(宅地の造成を含む) | : 自動車専用道路     |
| : 宅地の造成<br>(残置森林(最大範囲)) | : 一般国道        |
| : 発生土処分場                | : 県道 (主要地方道)  |
| : 市町界                   | : 県道 (一般県道)   |
| : 新設搬入道路                | : 市道 (主要運搬経路) |
| : 既設改修道路                | : 鉄道          |
|                         | : バス路線        |
|                         | : 騒音・振動調査位置   |

注) 宅地の造成(残置森林(最大範囲))には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。

出典:「横須賀土木事務所管内図」(平成20年、横須賀土木事務所)

「平成17年度道路交通センサス-全国道路交通情勢調査」  
(国土交通省)

「かながわのバスマップ」(2011年、社団法人神奈川バス協会)

「平成24年度横須賀地域の気象環境、  
水環境の状況について」(平成25年、横須賀市)



0 500 1000 2000 m

図3-2-12 騒音・振動調査地点図

(5) 土壌汚染

実施区域周辺には、土壌汚染対策法に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域は存在しない。

また、平成24年度に本市によりダイオキシン類について調査が行われており、その測定結果は表3-2-28に、調査地点図は図3-2-13に示すとおりである。

調査結果では、0.16pg-TEQ/gから7.20pg-TEQ/gとなっており、全ての地点において土壌の環境基準である1,000pg-TEQ/gを下回っている。

表3-2-28 ダイオキシン類に係る土壌調査結果（平成24年度）

（単位：pg-TEQ/g）

地点 番号	調査地点	ダイオキシン類濃度	環境基準
①	豊の坪公園	1.10	1,000
②	長坂公園	0.16	
③	栗田2丁目第6公園	7.20	

注）地点番号は図3-2-13に対応する。

出典：「横須賀市ホームページ 平成24年度横須賀市域の大気環境、水環境等の状況について」（平成25年、横須賀市環境政策部環境管理課）





## 1.10 苦情の状況

本市、三浦市、葉山町及び逗子市の各市町及び神奈川県の平成23年度の公害苦情の発生状況は、表3-2-29に示すとおりである。

本市では、平成23年度に15件の苦情が発生したが、そのうち、大気汚染に関する苦情が4件、騒音に関する苦情が8件であった。

表3-2-29 公害苦情の発生状況(平成23年度)

(単位：件)

区分 市町県名	大気 汚染	水質 汚濁	土壌 汚染	騒音	カラオケ 騒音	振動	地盤 沈下	悪臭	その他	合計
横須賀市	4	-	-	8	4	1	-	1	1	15
三浦市	21	2	-	4	1	-	-	3	-	30
葉山町	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7
逗子市	-	-	-	15	1	-	-	8	-	23
神奈川県	1,038	182	3	1,030	71	156	3	453	39	2,904

出典：「県勢要覧 平成24年度版」（平成25年、神奈川県統計センター）

## 1.11 関係法令等の指定・規制等

実施区域に係る関係法令による指定及び規制等の状況は、表3-2-30に示すとおりである。自然公園等の状況は表3-2-31及び前掲図3-2-8に、鳥獣保護区の状況は表3-2-32及び図3-2-14に示すとおりである。

実施区域は衣笠・大楠山近郊緑地保全区域及び衣笠・大楠山風致地区内にあり、また、鳥獣保護区（大楠山<sup>⑮</sup>）内である。



表3-2-30 実施区域に係る関係法令による指定・規制等

分類		関係法令等（公布日）	主な指定・規制内容	指定又は規制
自然環境保全		自然環境保全法（昭和47年6月22日 法律第85号）	自然環境保全地域の指定	—
		神奈川県自然環境保全条例（昭和47年10月21日 条例第52号）	自然環境保全地域の指定	—
		都市緑地法（昭和48年9月1日 法律第72号）	特別緑地保全地区の指定	—
		首都圏近郊緑地保全法（昭和41年6月30日 法律第101号）	近郊緑地特別保全地区等の指定	—
			近郊緑地保全地区等の指定	○
		自然公園法（昭和32年6月1日 法律第161号）	自然公園区域の指定	—
		神奈川県立自然公園条例（昭和34年4月1日 条例第6号）	県立自然公園区域の指定	—
		鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年7月12日 法律第88号）	鳥獣保護区域の指定等	○
		古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（昭和41年1月13日 法律第1号）	歴史的風土保存区域の指定	—
		都市計画法（昭和43年6月15日 法律第100号）	風致地区の指定	○
公害防止	大気汚染	大気汚染防止法（昭和43年6月10日 法律第97号）	ばい煙等の排出の規制 粉じんに関する規制 自動車排出ガスに係る許容限度等	○
		自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成4年6月3日 法律第70号）	特定地域の指定	○
		ダイオキシン類対策特別措置法（平成11年7月16日 法律第105号）	ダイオキシン類に係る排出の規制	○
		特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年5月25日 法律第51号）	オフロード特殊自動車からの排出の規制	○
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	排煙の排出規制 粉じんに関する規制	○
	水質汚濁	水質汚濁防止法（昭和45年12月25日 法律第138号）	公共用水域に排出される排出水の規制 排出水の地下浸透の規則	○
		ダイオキシン類対策特別措置法（平成11年7月16日 法律第105号）	ダイオキシン類に係る排出の規制	○
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	公共用水域に排出される排出水の規制 排出水の地下浸透の規則	○
	土壌汚染	土壌汚染対策法（平成14年5月29日 法律第53号）	区域の指定等	○
		農用地の土壌の汚染防止等に関する条例（昭和45年12月25日 法律第139号）	農用地土壌汚染対策地域の指定	—
		ダイオキシン類対策特別措置法（平成11年7月16日 法律第105号）	対策地域の指定等	○
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	土地の区画性質の変更に伴う公害の防止等	○
	騒音	騒音規制法（昭和43年6月10日 法律第98号）	特定工場等に関する騒音規制 特定建設作業に関する騒音規制 自動車騒音に関する許容限度等	○
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	工場騒音規制 深夜営業騒音規制	○
	振動	振動規制法（昭和51年6月10日 法律第64号）	特定工場等に関する振動規制 特定建設作業に関する振動規制 道路交通振動に関する要請等	○
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	工場振動規制	○
	地盤沈下	神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	地下水採取の規制区域の指定 地下水採取規制	—
	悪臭	悪臭防止法（昭和46年6月1日 法律第91号）	悪臭原因物質の排出規制	○
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年10月17日 条例第35号）	悪臭発生作業に関する規制	○
	廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日 法律第137号）	事業者の責務及び適切な処理等	○
			最終処分場の維持管理基準	○
			最終処分場の廃止基準	○
文化財		文化財保護法（昭和25年5月30日 法律第214号）	国の史蹟名勝天然記念物、文化財の指定	—
		神奈川県文化財保護条例（昭和30年3月30日 条例第13号）	国の史蹟名勝天然記念物、文化財の指定	—
防災		砂防法（明治30年3月30日 法律第30号）	砂防指定地の指定	—
		地すべり等防止法（昭和33年3月31日 法律第30号）	地すべり防止区域の指定	—
		宅地造成等規制法（昭和36年11月7日 法律第191号）	宅地造成工事規制区域の指定	○
		急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律（昭和44年7月1日 法律第57号）	急傾斜地崩壊危険区域の指定	—
		土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年5月8日 法律第57号）	土砂災害警戒区域の指定	—

表3-2-31 自然公園等の状況

種 別	区域名・地区名	面積 (ha)
近郊緑地特別保全地区	武山近郊緑地特別保全地区	約 194.5
	衣笠・大楠山近郊緑地特別保全地区	約 49.5
近郊緑地保全区域	武山近郊緑地保全区域	約 327.0
	衣笠・大楠山近郊緑地保全区域	約 958.0
	逗子・葉山近郊緑地保全区域	約 1,087.0
風致地区	塚山風致地区	26.8
	衣笠・大楠山風致地区	682.0
	武山風致地区	326.7
	大楠山風致地区	98.7

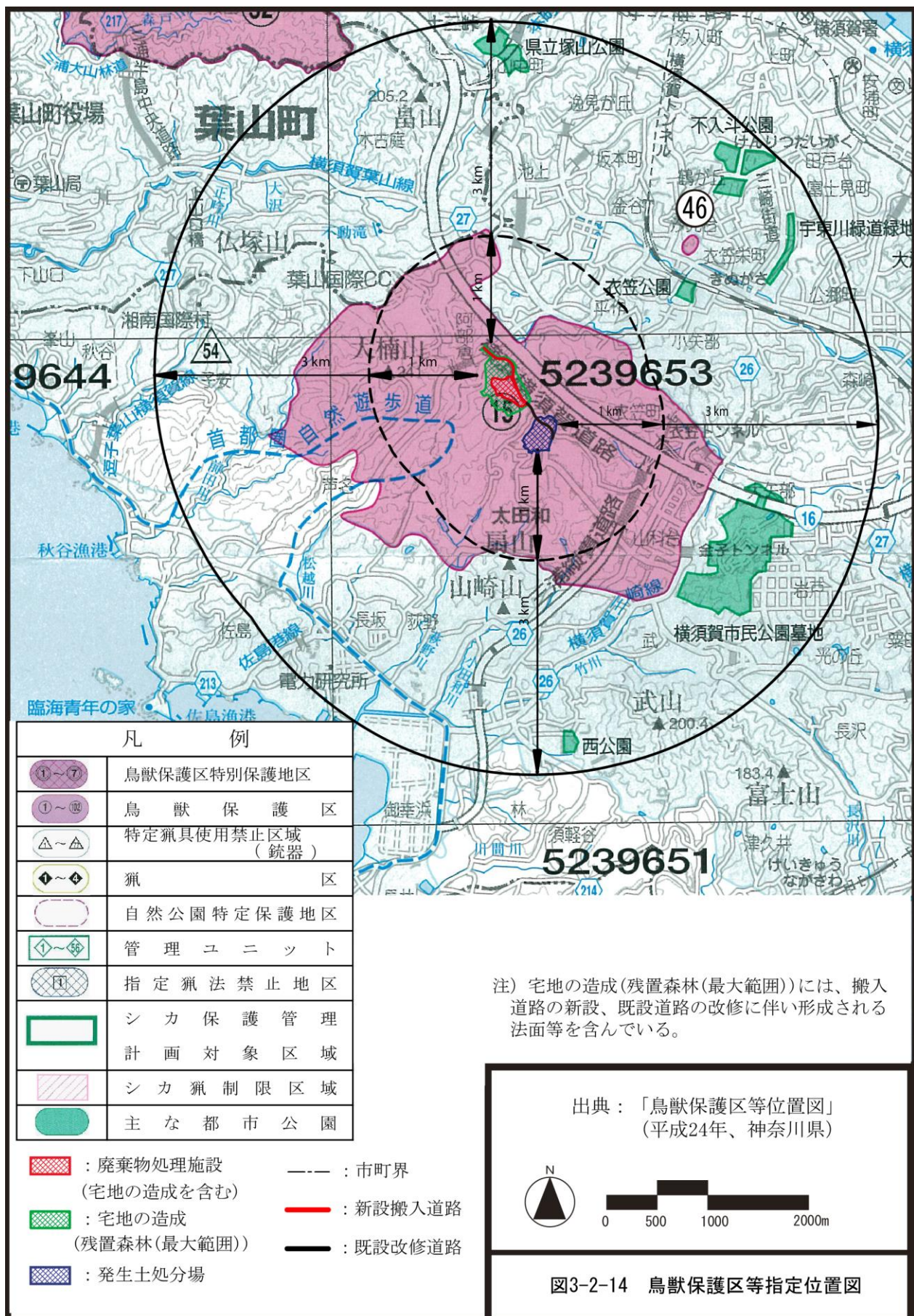
出典：「かながわのみどりの保全」（平成 25 年、神奈川県環境農政局水・緑部 自然環境保全課）

表3-2-32 鳥獣保護区等の状況

区分	番号	名 称	期 間	場 所	面積 (ha)	※
鳥 獣 保護区	①5	大楠山	平成 21 年 11 月 1 日から 平成 31 年 10 月 31 日まで	横須賀市の一部	827.0	身
	④6	大明寺	平成 22 年 11 月 1 日から 平成 32 年 10 月 31 日まで	横須賀市 衣笠栄町の一部	2.9	身

注）※：鳥獣保護区の設定目的による区分。（身：身近な鳥獣生息地）

出典：「平成 24 年度 神奈川県鳥獣保護区等位置図」（平成 24 年、神奈川県）



(空白)